

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月26日

事業所名 こどもプラス小塚教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	・運動スペースと静かな活動スペースを分けている。	・今後も利用児童の人数や状況に応じて、スペースを工夫しながら使用していく。
	2	職員の配置数は適切である	1	7	・日によるが、職員の休みが被った時は少なくなる事もあり、送迎や活動を工夫して対応している。	・4月から、職員を増員予定。利用児童に応じて必要な人員を確保していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	3	・視覚化したり、特性に応じ職員が声かけを行っている。	・車椅子の児童はいないので、段差については必要に応じて改善を検討していく。 ・視覚的に児童の興味をそそる物が多いので、活動に応じて出し入れ出来るように改善していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1	・掃除は毎日行っており、事業所内をきれいに保っている。 ・花壇の活用、部屋の道具整理や掃除を行っている。	・おもちゃの消毒を定期的に行い、清潔な状態を保てるように努めていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	8	0	・朝礼、昼礼、終礼で振り返りを行い、目標設定出来る時はしている。 ・職員が意見を出し合う中で、どうしたらいいのかまで話している	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	8	0	・保護者のニーズと児童のニーズの双方のバランスを取りながら、改善に向けて取り組んでいる。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	・毎年ホームページに掲載している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3	・第三者評価機関ではないが、相談員さんや見学者を積極的に受け入れている。 ・意見箱を設置している	・外部評価での指摘があったら、職員と内容を共有し、改善に努めていく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	0	・動画研修を定期的に行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	・児発管がアセスメントを取り、職員からも情報を聴き取り作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	・マニュアル化されたシートを使用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7	1	・モニタリングや申し送りも含め、聴き取りした内容に対しての手段や方法を設定している。	・今後も職員間で児童発達支援計画の内容を確認し、具体的な支援内容を設定出来るようにしていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	・運動の担当は決まっているが、みんなで相談して決める事もある。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1	・利用児童の年齢にあった内容を考えて行っている。 ・ローテーションにしている。 ・児童が飽きないように工夫をしながら行っている。	・職員を増員し、活動プログラムの充実化を図っていく。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0	・児童の特性や人数を見て内容を決めている。 ・静の活動(OT)と動の活動を行っている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	2	・イベントや行事に関しては、当日の流れや内容を確認している。 ・支援開始前は、事前に職員間での情報共有を行っている。	・事前準備を早めに行い、余裕を持って当日対応出来るようにしていく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	・毎日、終礼でその日の出来事を共有している。 ・良かった点、悪かった点など気づいた点は共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	・良かった事、悪かった事、その時のアプローチと結果を記録している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	・児発管がしっかりと調整を行っている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2	・現場の話を職員から聞き取りして児発管が参加している。	・基本的に管理者が参加しているが、児発管が2人体制になったので、今後は分担して会議への参加を行っていききたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	7		・連携した取り組みは特にないので、必要であれば検討し連携を取っていく。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/	該当児なし。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/	該当児なし。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	8	0	・保育所等訪問支援や担当者会議で情報共有を行っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	・保育所等訪問支援を通して円滑に行えている。	・次年度より、小学生が増えるので、積極的に移行支援を行っていききたい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	6		・現時点ではないため、今後は助言や研修を通して、専門機関との連携を深めていきたい。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	7		・今のところないが、事業所外での児童間の関わりとして良い機会だと思いうので、交流する場があっても良い。 ・感染症の制限も緩和されてきたので、今後は地域との交流も検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	8		・今後、機会があれば参加を検討していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
30	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1	・申し送りやモニタリングを通して行っている。	・今後も情報の共有を行い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を深めていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	5	・保護者からの質問等があれば、有効な方法を調べ返答している。	・職員間でペアレントトレーニングについての知識を深め、保護者様に対して家族支援の充実を図れるようにしていく。
32	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	・児発管がしっかりと説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7	1	・児発管が説明している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	・質問や相談、保育所等訪問支援希望者へ尽力している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	7		・保護者同士の連携はほとんどないと思うので、お互いの悩みを相談できる場として今後、保護者会の開催を検討し、保護者同士の連携を支援出来るように努めていく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	・毎月、必ずおたよりを発行している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7	1		・取り扱いの注意は常に行っているが、不安な時もあるので、その時は改めて職員間で個人情報の取り扱いのルール確認を行っていく。情報漏洩のないように今後も個人情報の取り扱いには十分注意していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	7	・不定期ではあるが、運動療育の体験会を行っている。	・地域住民との交流はほとんどない為、今後は地域住民との交流を図れるよう、イベント等を検討していく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1		・緊急時の対応や不審者が現れた時の訓練等を検討していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1	・年に2回避難訓練を行っている。	・避難訓練は午前中での実施が多かったので、今後は児童の多い午後の時間帯でも実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	3	・アセスメントを取る時に確認を行っている。	・今後もアセスメントで情報収集を行い、職員と共有して対応を行っていきたい。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	3	おやつ提供時やクッキングの際に配慮している。	・医師の指示書はなく、ご家族からの情報を元に今後も対応をいく。
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0	・定期的に事例に関して話し合っている。 ・事例集を作成している。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	0	・1年に1回は必ず行っている。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	3	・身体拘束が本当に必要か？どういった場面かまでを話し合い、必要な児童には計画に記載を検討している。	・現在、拘束が必要な児童はいないが、今後必要になるようであれば、児童発達支援計画に記載し内容を職員と共有して児童への対応を行っていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。